

次号予告

特集 エネルギー業界と規制緩和

エネルギー産業と規制緩和

……高井英造（静岡大学）

電気事業の規制緩和 ……矢島正之（電力中研）

石油備蓄の経済効果に関する計量分析

……伊藤浩吉（日本エネルギー経済研）

都市ガス業界と規制緩和

……翠田 文（日本エネルギー経済研）、
石坂匡史（東京ガス）

解説

情報処理システムの性能評価(1)

……紀 一誠（日本電気）

内点法(1) — 概論 —

……水野眞治（統計数理研）

オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長	森 雅夫	東京工業大学
副委員長	逆瀬川 浩孝	早稲田大学
委員	伊藤 裕康	㈱富士通研究所
	上野 信行	住友金属工業㈱
	城川 俊一	東洋大学
	國澤 直樹	東京電力㈱
	小池 将貴	筑波技術短期大学
	新村 秀一	住商情報システム㈱
	高橋 真吾	東京工業大学
	高橋 敬隆	日本電信電話㈱
	中里 宗敬	青山学院大学
	西尾チヅル	筑波大学
	服部 正太	㈱構造計画研究所
	宮田 雅智	青山学院女子短期大学
	矢島 安敏	東京工業大学
	山上 伸	東京瓦斯㈱
	山下勝比拡	㈱東芝

編集後記●世の中は、リストラ（業務改革）真っ最中。本編集（委）も業務改革推進中であります。たとえば、新シリーズの開設、編集のリードタイムの短縮検討等があります。今月お届けする「CIMのOR」特集は、昨年10月から新しく始まった「実践講座スケジューリング」の総集編といえるもので、青山学院大黒田先生にお願いいたしました。本当にありがとうございます●OR学会の役割は、種々に広がっています。ORが科学・技術の学問である限り、理論と実践および、その結果のフィードバックなくしてありえません。そういうORの実践力を一層高めたいという意味からスタートしたのが、「実践講座」シリーズであり、1番目として「スケジューリング」が取り上げられました。製造・建設分野をはじめ、スケジューリングの役割は非常に大きく、したがって、ORが大きく寄与する領域の1つであると思われまます。いわば、学と産が大きな接点をもてる分野であり、大きな相互作用が働くべき領域であるといえます。「実践講座スケジューリング」をコーディネートしていただきました京工織

大木瀬先生をはじめご執筆いただいた方々に深く感謝いたします●先日、大江健三郎氏の「新しい文学のために」（岩波書店）を読みました。そこには、文学とはなにか、文学をどのようにつくるか、文学をどのように受けとめるか、生きていく上で文学をどのように力にするかが述べられています。文学にも、基本的な手法・方法論があるとか、「異化」「異化から戦略化・文体化へ」「想像力の働き」「文学は世界のモデルをつくる」等であります。文学にも方法論がある!! 小生にとって大きな驚きでありました。芸術に近い文学においても方法論がある。或いはつくろうとしている。ましてや、科学・技術を標榜するORにおいておや、おや？なぜ、あたりまえのことをいまさら言おうという気になったのかナァ？●上で述べた「文学」を「OR」に置き換えて、もう一度自問してみたいと思います。ORが方法論という鎧をつけて、実践力がもっともっと高まってゆくことを期待するとともに、小生もこの一助となるよう努力してゆきたいと思っております。（上野信行）

本誌に掲載された記事についての著作権は、社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

オペレーションズ・リサーチ

平成7年5月号 第40巻 第5号 通巻413号

代表者 村井 勉

発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会
東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル
電話 03-3815-3351(代) FAX 03-3815-3352 〒113

編集人 森 雅夫

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2 〒151

●本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ 定価 950円（本体922円，郵送料含）年間予約購読料10,800円（税・郵送料含）

●本誌への広告お申し込みは明報社（3546-1337）、日経弘報社（3563-2241）へ